

## 両親に感謝

友達と協力して実行委員をして楽しく準備を進めることができた。自分達が考えた企画がみんなに楽しんで



実行委員長  
山口秀斗さん

## 新成人 私のひとこと

私は地元就職したので残った仲の良い友達と遊び、たまに帰って来た人と遊んだりしますが、その全員が集まったりすることはなかなかないので、これから何かあった時

は集まって馬鹿みたいなことをしていきたいです。  
私達が生まれて20年が経ち、いろいろな思い出ができたので両親にはこの尾花沢に命を授けていただき本当に感謝しています。  
これからは、新たな思い出を作っていく、楽しく生活していきたいと思えます。

## 信頼される職員に



実行委員  
阿部貴晃さん

8月15日、多くの方のご協力をいただき、晴天のなか成人式・私たちのつごいを迎えられる大変嬉しく思います。自分たちで企画、

運営をし、一から作り上げることは大変でしたが、その分達成感があり、いい思い出となりました。なかなか都合のつかない友人とも再会でき、有意義な時間となりました。

私は今から市職員として税に携わる仕事をしています。税に関することは勉強中ですが、市民の方々に信頼していただけるような職員となれるよう努力していく所存です。市民の方と直接お話しすることも多いので、その際に声をかけていただけたら嬉しく思います。社会人の仲間入りをし、これからさらに自覚と責任をもって仕事にプライベートに充実した日々を送りたいと思えます。

## 首都圏尾花沢会に参加

平成25年9月29日(日) アルカディア市ヶ谷(私学会館)において、第29回首都圏尾花沢会総会が開催されました。総会後は、故郷を思い集う尾花沢出身のみなさんと懇談会も開催され、市議会議員ほか尾花沢からの参加者で発祥地の花笠踊りや歌を披露しました。



## あとがき

本号から市議会だより編集メンバーが変わりました。より市民目線にたつて、読みやすく、鋭い話題を取り上げていきたいと考えています。そのため毎号さまざまなチャレンジをしております。次号も読みたくなるような紙面づくりをめざして編集委員手づくりで一致団結して制作しているところです。ご意見ご感想など、ぜひお気軽にお寄せください。(塩原未知子)

## 行政視察に 来市された議会

福島県田村市議会「政友会」5名の皆さんが、10月3日(木)介護保険について視察に来市されました。

尾花沢市議会  
インターネット中継  
市のホームページからアクセスできます  
www.city.obanazawa.yamagata.jp

発行／山形県尾花沢市議会

編集／市議会だより編集委員会

市議会だより編集委員  
◎塩原未知子  
○青野 隆一  
菅野 修一  
五十嵐佳満  
大類 好彦  
武田 佳久  
星川 睦子  
◎委員長 ○副委員長

# おぼろげな 市議会だより

9月定例会	
■補正予算・議案の審議	2-3
■決算特別委員会	4-5
■分科会委員長報告	6
■特集ふるさと納税	7
■一般質問	8-13
■議会の構成	14
■広域議会の報告・請願・意見書	15
■私のひとこと	16

79号  
平成25年10月15日発行

9月22日(日) 秋晴れの中  
横町第二町内会第44回秋の大運動会で行われた  
恒例のカッパリング競技「ほほよせて」の様子



# 9月定例会

# 平成24年度決算を認定

一般会計歳出 109億1585万円  
 特別会計歳出 58億4158万円  
 歳出総額 167億5743万円

## 8月臨時会

### 補正予算

**Q**「雪とスイカと花笠のまち」ふるさと応援基金の総額はいくらか。これによって普通交付税の減額などはないか。

**A**当初450万円ほど見込んでおりましたが、1



里山整備事業が実施される寺内地区

**Q**里山林整備業務委託料はどこをどう実施するのか。

**A**寺内地区の導専坂橋から八幡神社付近までの3〜4km近くで、奥

行約35mの帯状に間伐整備を行うため、県から追加内示を受けて降雪前に完了したいと考えています。

**Q**花笠高原施設の工事請負費はどこをどうするのか。

**A**スキー場の簡易リフトの減速ギアの交換やゲ



簡易リフトとゲレンデ

**Q**議員年金給付費負担金は一般会計からの歳

### 議員年金負担金

入レンドの整備工事とナイター照明設備の補修などを行う予算です。

千150万円も増加し、総額1千600万円ほどの寄付金になりました。普通交付税は減額などの影響はありません。

**Q**オートキャンプ場に使用するロータリー除雪車が37万円ほどで県

より払下げられる。安価であり問題はないか。

**A**このたび県で処分する12台中の1台を払い



払下げロータリー除雪車

## 審議日程

9/ 4(水)	本会議 (会期の決定、市長提出議案の説明、議案の審議及び採決、請願の付託)
9/ 5(木)	各常任委員会 (付託された請願・陳情の審査及び所管事務の調査)
9/ 6(金)	本会議 (一般質問で6議員が市政全般を質す)
9/ 9(月)	本会議 (一般質問で5議員が市政全般を質す) 決算特別委員会の設置並びに決算議案の付記
9/10(火)	決算特別委員会 (平成24年度各会計決算に対し総括質疑)
9/11(水)	3分科会を設置し付託案件の審査
9/12(木)	分科会 (付託案件の審査)
9/13(金)	分科会 (付託案件の審査)
9/18(水)	決算特別委員会 (3分科会委員長報告及び採決) 本会議 (請願の審査、各常任委員長報告及び請願の採決) 議会運営委員会 (追加議案など)
9/19(木)	本会議 (決算議案の審議、決算特別委員長報告及び採決、議案の審議及び採決)

平成25年9月定例会は、9月4日から19日までの16日間の会期で開かれました。平成24年度各会計決算の認定7件、補正予算3件、条例の制定など8件、人事案件4件の合計22案件を慎重審議した結果、いずれも原案の通り認定・同意・可決しました。

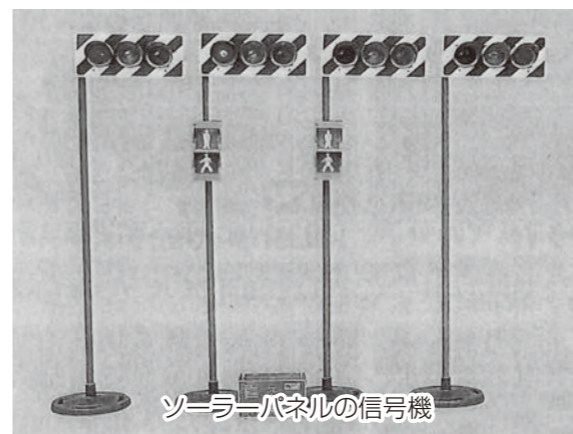
また、請願2件が採択されるとともに、意見書提出の議案2件を可決し閉会しました。

## 補正予算の審議

### ふるさと尾花沢 応援基金の活用

**Q**ふるさと応援基金が順調に寄せられているので、その活用として徳良湖周辺施設とまち中公園整備に補正を組まれている。どんな内容か。

**A**8月22日に基金の用途選定委員会を開催し、徳良湖の遊具を整備して子ども達のいるの場とするために、V字型のつり橋の設置



ソーラーパネルの信号機

上は70万円、50a以上2ha未満は50万円を交付するとしています。このたび15件について910万円を補正し交付しますが、財源は全て国より交付されることになっています。

や遊歩道補修整備を行います。また、第一、ひかり、大導寺の各公園の遊具の更新を図ること、交通安全教室で用いる信号機をソーラーパネル方式に更新することとしていきます。

### 農林水産業費

**Q**農地集積推進事業交付金の内容は。

**A**人・農地プランを策定した地域において、農地集積に協力した農家(出し手)の方へ、面積に応じて2ha以上は70万円、

出額が大きい。ずっと続くのか。国の助成はないのか。

**A**全国の地方議会をプールした形の負担金で当初3千万円ほど計上していましたが、全国議員共済会から500万円ほど不足の通知があり、このたびの補正となりました。この負担金は今後も続きますが市としても負担軽減の要望を行っています。

## 議案の審議

### 条例の制定・設定

**Q**国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての施行日は、平成29年1月1日となっている。施行日までかなりの時間がある。なぜ、今条例の改正なのか。

**A**今般、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が、平成25年6月12

**Q**子ども・子育て会議設置条例の設定で、本年度の具体的な運営はどうしていくのか。

**A**子育て支援会議を設置して、幼児保護者からのアンケート調査を実施したり、当会議の委員を選任して、来年9月の次世代の子育て計画書策定に向け、準備検討を重ねていきます。

# 決算特別委員会

# 施策の成果を問う

## 市民生活に密着した さまざまな課題について質疑しました

### 建設関連の請願 は進んでいるか

Q 道路・橋梁など、建設関係の請願中、実施されていないものはどれくらいか。

(青野隆一)

A 平成7年度から24年度まで80件中64件完了済または着手済です。未着工は16件です。重要度や緊急度、財源の調整などを考えあわせ、実施可能なものから5か年計画などに組み入れて進めています。



悪臭が心配されている側溝

### 水路の悪臭対策 を進めよ

Q 流雪溝や用水路の水が少ないため、悪臭がする地域がある。対策が必要ではないか。

(五十嵐佳満)

A 現在調整会議を開催し、地区の人の要望を聞きながら検討を進めているところです。

### 高額な雪山冷房 の維持管理費

Q 雪山冷房の維持経費はいくらか。工事を中止し、その360万円を庁舎建設基金に積立するべきではないか。

(星川睦子)

A 雪冷房の経費は毎年約100万円です。昨年は修繕費とネットによる景観整備費がかかり、約220万円でした。尾花

沢市特有の再生可能エネルギーを利用した事業を進めていきたいと考えています。



市庁舎前の雪山冷房(9月19日)

### 農業対策に重点を

Q サル・クマ・イノシシの被害状況は。電気柵や追い払い花火の効果はどうか。

(伊藤精一)

A 被害額はクマ280万円、サル95万円、イノシシ6万円です。電気柵は効果があり、来年度は取り組みを拡大し

たい考えです。追払い花火は各地区に配布しており効果が上がっています。猟友会とも連携をとって対応していきます。



スイカの被害

### 肺炎球菌予防接種 の継続

Q 高齢者の死亡率が高い原因は肺炎です。肺炎球菌予防接種の継続をしてはどうか。

(石塚ミツ子)

A 肺炎の方すべてが肺炎球菌による原因ではありませんが、死亡者は減少傾向にあり効果が出ていると考えています。継続したいと思

### 老健施設などの 待機状況

Q 施設入居希望の待機状況は。在宅待機者についての支援はどのようになっているか。

(武田佳久)

A 特老4施設の待機者は、24年度末で170名の申込者があり、要介護度3以上の方は110名です。

老健の施設は、人口比2.2%であり、施設は他市町村に比べ多いほうです。在宅介護サービスにはいろいろあり、ショートステイ、訪問介護、訪問看護、通所サービスなどを組み合わせて受けることができます。

### ひとり暮らし除雪 サービス事業は

Q 一人暮らし老人など除雪サービス事業について。シルバー人材センターと建設業者との賃金単価が違うので、

是正が必要ではないか。

(大類好彦)

A 基本的にシルバー人材センターに委託しています。除雪券として7千円分を補助しており、平成24年度は豪雪につき6枚配布しました。原則的にシルバー人材センターを活用することとしており、単価については今後相談していく考えです。

### 路線バスのデマ ンド化を進めよ

Q 路線バスのデマンド化(予約制)で、経費削減、利用しやすいバスにしてはどうか。

(菅野修一)



市路線バス

A 現在65歳以上の人にアンケート調査を行い集計中です。結果を踏まえ、よりよい市民の足の確保をしていきたいと考えています。

### 学力向上を目指せ

Q 授業についていけない学力の児童・生徒が増えているのではないかと。学力向上を目指すべきである。

(菅根光雄)

A 尾花沢の小中学校は、全教科で全国平均を上回っています。さらに学力向上を図っていきます。

### 宮沢小の道路は

Q 宮沢小に接続する道路と駐車場はいつ完成するのか。(加藤克彦)

A 用地測量と買収を今年度に行い、来年度工事を実施する予定です。駐車場はバックネット裏に約30台分作る予定です。

### 遊具を木製に

Q 徳良湖周辺の遊具の修理費120万円ほどのような内容か。雪国に対応した木製遊具に替えられないか。

(塩原未知子)

A 4月と7月の年2回修理点検しています。現在木製遊具と金属遊具の両方があります。が、厳しい基準があり、製品安全管理士の資格をもつ技術者が点検修繕しています。

### 雪を使ったイベ ントを

Q 夏に雪を使ったイベントで尾花沢をアピールしてはどうか。

(小関英子)

A 夏まで雪を保管する場所、方法、また雪は白いものというイメージがあり、白いままでの保管は難しい。費用対効果も考えなければなりません。雪のラブラター事業など見直

し、雪まつりなどに活かしたいと考えています。

### ホームページを 工夫せよ

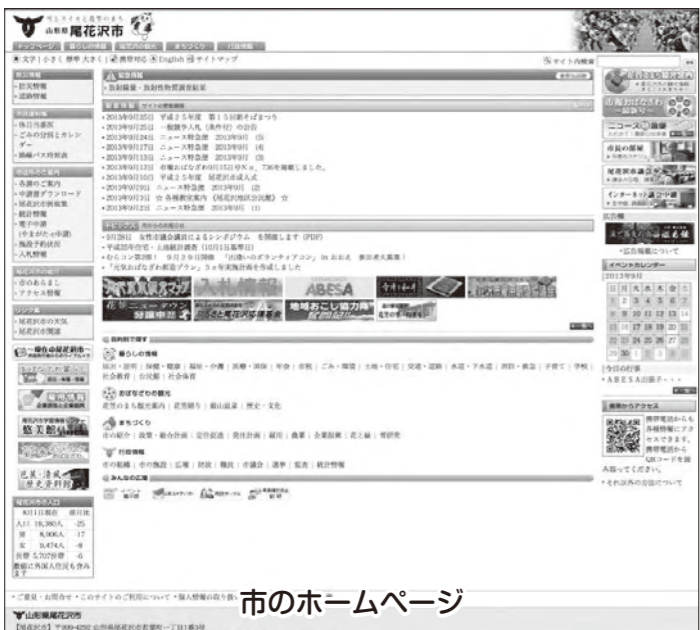
Q 市のホームページについて。市の情報発信の役割を果たすために、さらに工夫するべきではないか。

(大類準一)

A 25年度にリニューアルするため、予算をと

り、検討委員会において検討を進めています。シンプルで使いやすく、市の魅力を発信するホームページにしていきたいです。

議長 鈴木 敏正  
監査委員 須貝 孝  
決算特別委員長 奥山 格  
3名は、役職の都合上、質疑できません。



市のホームページ

# 分科会委員長報告

## 第1分科会 (総務文教)

### 地方特例交付金

住宅ローン控除・児童手当・子供手当特例交付金が廃止されたことで減少しました。地方交付税について、豪雪などの影響で増加しました。

### 市政バスや園児バスなどの運行経費

利用実態や近隣市町村の状況などを考慮し、関係課で検討するとの説明を受けました。

### ふるさと暮らし応援事業

宅地取得などの助成や住宅の雪対策助成を展開していると説明を受け、事業の強化を要望しました。

### 空家対策

特に冬期間の雪対策

について、適切な対応を要望しました。

### 学校給食の地場産品の使用

じゃがいも・アスパラガス・大根・小松菜など多く活用されていると説明を受け、今後とも積極的に取り入れるよう要望しました。

### 圧雪車の修繕

購入から13年が経過し老朽化しているため、計画的に整備するよう要望しました。

その他の項目についても、詳細な説明を受け了承しましたが、審査の過程で提示された意見や要望を尊重し、予算執行に当たられるよう要望しました。

## 第2分科会 (市民厚生)

### 路線バス運行費

バス利用者の意見も取り入れながら、本市に適した公共交通システムへの導入、デマンド化に向け、先進地の事例を参考に、効率的なバス運行を実施されるよう要望しました。

### 市民雪研究会補助金

北庁舎のやまがたゆきみらい推進機構の事務所を本市に移設して、官民一体となった居住空間の無雪化などに取り組まれるよう要望しました。

### 一人暮らし老人など除雪サービス事業委託料

除雪サービス券は配布枚数千914枚に対し、830枚と使用率は44%で

あるとの説明であり、他町村の事例を参考に、より利用しやすい制度にされるよう要望しました。

### 子育て支援医療給付費

医療給付費から減額して国庫負担金を算定する方法を行わないよう強く国に働きかける

### 特定不妊治療助成事業

7組10件の申請があり、うち4人が妊娠したと説明があり、さらに周知啓蒙を図るよう要望しました。

### 国民健康保険特別会計

退職被保険者等療養給付費及び高額療養費の大幅な伸びについて、80万円以上の高額な治療を受けた方が大幅に増加したとの説明があり、資格切り替え時点での積極的な健診受診勧奨を推進されるよう要望しました。

### 中央診療所施設勘定

医薬材料費が3千万円近く伸びていることに対し、入院収入、外来収入ともに増加したとの説明があり、医師と協議の上、可能な限りジエネリック薬品の使

用を推進されるよう要望しました。

### 農業集落排水事業特別会計

宮沢西部地区の接続については、未接続者への啓蒙を図り、さらなる接続率の向上に努められるよう要望しました。



除雪ボランティア「おばね雪ほり隊」

## 第3分科会 (産業建設)

### 議会費

平成19年度より常任委員会の調査への職員の随行が行われていませんでしたが、平成24年度は職員が同行し、議員とともに視察調査を行ったことは職員の研修という意味から大変意義があります。平成25年度も同行されるよう要望しました。

### 農地振興費

尾花沢すいかを活用した商品化への研究開発を継続して取り組むよう要望しました。また、中山間地域直接支払事業交付金について、耕作放棄地の防止にもつながっているため、今後とも継続し交付できるよう強く要望しました。畜産費の稲わら確保については、県内からの確保率は2割程度にとどまっていますが、今後拡大に向けて検討し、自給率向上に努めるよう要望し

### 農地費

農地・水保全管理費交付金は、効果の高い事業であり、今後とも継続されるよう要望しました。

### 花笠高原設備費

委託料の花笠高原施設指定管理料については、当該施設の修繕及び施設の維持管理業務は市の責任において行う方針であるとの説明を受け了承しました。

### 企業対策費

国道347号線通年通行を見据え、さらに企業誘致しやすいよう、雪対策に対する補助制度などの支援制度拡充を図るよう要望しました。

### 道路維持費

除排雪業務委託料及び排雪機械借り上げ料第1から第4工区があり、今後、工区分けや除雪業務にかかる経費などについて充分考慮するよう要望しました。

## 特集報告 平成24年度「雪とスイカと花笠のまち」ふるさと応援基金実績

寄付金の状況について 平成20年6月～平成25年3月

平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		合計	
寄附金額(円)	件数	寄附金額(円)	件数	寄附金額(円)	件数	寄附金額(円)	件数	寄附金額(円)	件数	寄附金額(円)	件数
11,656,178	58	4,958,013	47	3,445,746	59	2,293,014	63	7,553,288	540	29,906,239	767

### ◆これまで活用された内容

(平成22年度) 芭蕉真筆購入	550万円
徳良湖周辺の景観維持・再生事業	80万円
(平成23年度) 徳良湖周辺の景観維持・再生事業	100万円
(平成24年度) 芭蕉真筆購入	250万円
芭蕉真筆複製	49万円
徳良湖周辺の景観維持・再生事業	100万円
元気な地域づくり事業	150万円
(平成25年3月末日現在) 合計	1,279万円



芭蕉・清風歴史資料館  
芭蕉来訪展

### ◆今年度予定されている内容



老朽化した遊具やベンチが更新される



「V字谷つり橋」の設置が予定されている徳良湖遊園地

### 【平成25年度事業】

ふるさと応援基金事業	592万円
徳良湖周辺の景観維持・再生事業	40万円
元気な地域づくり事業	100万円
銀山十分一標柱修繕事業	30万円
山刀伐標柱製作設置事業	50万円
徳良湖遊歩道整備事業	125万円
徳良湖遊具整備事業	554万円
児童公園遊具更新事業	505万円
交通安全教室用信号機購入事業	70万円
合計	2,066万円

# Q&A

## 一般質問

尾花沢市議会中継

検索

尾花沢市ホームページより議会中継の録画が視聴できます。

### 地域の宝を充分に活用する まちづくりを



塩原末知子 議員

**Q** 指定避難所の中には老朽化した建物が多い。災害時、指定避難所としての機能を十分に果たせるのか心配だ。常備体制は十分か。

**A** 現在、指定避難所とされている施設は、ほとんどが冬期間も使用されている施設で、除雪対応や暖房器具も備えられており、季節を問わず避難所として利用することは可能です。ライフライン対策は、非常用発電機や燃料携帯缶、投光器などを配備。水道、ガスは災害時の状況に応じ給水車の配備で対応していきます。

ます。

**Q** 県HPに、メガソーラー設置の候補地として、市内3ヶ所が掲載されているが、その他に有効活用可能で、目的が定まっている未利用市有地はあるか。

**A** 候補地について問い合わせがありますが、ここ3年間の豪雪をふまえてソーラーパネルの維持管理、発電効率と採算性の問題が懸念され、冬期間に試験設置の提案をしていきます。また、市が保有する普通財産は約200㎡となっています。

**Q** 地域の特徴を活かした再生可能エネルギーを導入する際、アドバイザーによる助言や導入費用に対する補助制度はあるか。

**A** 補助制度については



バイオマスエネルギー（木質ペレット燃料）

市の「住宅リフォーム緊急支援事業」や県独自の「再生可能エネルギー設備導入事業費補助金」があり、太陽光発電施設やペレットストーブやボイラーなどが対象となります。補助率や限度額に違いがありますので、県などの協力を得ながら市でも相談に応じます。

**Q** 「尾花沢スイカ」のさらなるブランド力向上と、生産地保護の観点から市独自の認定基準を設ける考えはないか。

**A** 現在市独自の認定基準はありませんが、夏すいか日本一の産地を維持発展させるためには、後継者育成、栽培技術のさらなるブランドの確立を図り農業の発展に努めていきます。

### 尾花沢の未来は 優れた農業政策にあり



伊藤 精一 議員

**Q** 農業従事者の高齢化に伴い担い手、後継者対策はどのように考えているか。

**A** 本市の農業従事者の年齢構成は、2010年農林業センサスによると、農業就業人口は全体で3千12名で、そのうち60歳未満が72名で26.3%、60歳以上が2千220名で73.7%、中でも65歳以上が1千805名で60%と大変高齢化の状況にあります。県の動向調査によれば、平成24年6月から平成25年5月までの新規就農者は21名で本市は10名、平成24年度は15名、



平成23年度は10名、平成22年度は11名です。

本市の施策は、国の施策である「人・農地プラン」にある「青年就農給付金」や「農の雇用事業」の普及推進を図る一方、本市独自に「人・農地プラン」未

策定地区の就農を支援するため平成24年度から「農業新規参入者支援事業補助金制度」を創設し、支援を行っています。

**Q** 消防行政について。

最近、消防団員の確保が困難な状況と聞いているが、その対応と各地域の自主防災会との連携はどうか。

**A** 尾花沢市消防団は、5分団61部80班に編成されています。条例定数750名に対し、実員数722名。消防団員の確保対策については現在25の事業所に対しご理解と協力をいただいています。また、婦人防火協力班との連携強化に努めています。自主防災会が自主的に防災訓練や研修会を実施しやすいように各種助成を行っています。

**Q** 庁舎の耐震診断の結果が示された。今後の庁舎建設について。

**A** 特に、東棟と北棟は大地震が発生すれば倒壊・崩壊の危険性が高くなっています。今後、市民の方々とともに検討していきます。

### 国道347号の整備と 市の活性化対策は



大類 準一 議員



国道347線 除雪風景

**Q** 国道347号の整備について、現在の整備状況と今後の計画はどうか。

**A** 危険箇所は道路改良とバイパス化についてどのように進めていくのか。通年通行に伴い、市の活性化対策はどのように進めるのか。新

たな「道の駅」などを整備する考えはどうか。

**A** 平成28年の通年通行に向けて、国、県に要望しており、将来的にはバイパス化を進めるために、地区民の意向を踏まえ、早急に検討を行なう予定です。

また、仙台市活性化対策として、宮城北部中核工業団地の企業から市内関係企業への情報提供や企業PRにも取り組むとともに、新たな拠点となる道の駅などの施設の整備についても今後検討していきます。

**Q** 雇用対策について、地域雇用創造事業の取り組みはどうか。企業振興について、既存企業の対策と新たな企業誘致の用地などの対応はどうか。

**A** 尾花沢市雇用創造協議会では、今年の7月から国の委託を受け、今後3年間で、約88名の就労者数を目指します。市内企業の振興策としては、仙台圏からの取り引き拡大を目指し、企業誘致については、企業訪問してPRを行っていきます。工業団地の造成は、25haが造成済で、未造成26haを計画しています。

**Q** 空き家対策の状況はどうか。その対策の一つとして空き家条例の制定についての考えはどうか。

**A** 現在263件の空き家が確認され、周辺のパトロールや地域住民の通報などで状況を把握しています。条例化に向け、他市町村の内容を検討し、国・県に対して法整備を図るよう要望していきます。

### 『第6次総合振興計画』の目標達成は



青野 隆一議員



**Q** 第6次総合振興計画に掲げる、平成32年の目標人口1万7千人達成の見通しはどうか。むしろ人口減少は加速化しており、より実効性のある定任対策をどう進めていくのか。

**A** 人口減少は深刻であり、全国で12番目に人

口の少ない市となっています。目標人口を確保するために、雇用の確保、産業振興、定住促進、子育て支援など7本を柱に重点的に予算配分を行い、市の活性化を図っていききたいと考えています。

**Q** 流雪溝などのハード面での整備とあわせて、限りある水資源をいかに有効に使うのか。除排雪時のマナーをどう徹底して市民と行政協働の『雪と共生するまちづくり』を進めていくのか。

**A** 丹生川河川敷雪捨て場に家庭内ごみや粗大ごみ等の不法投棄的なごみが見受けられます。毎年実施している降雪前の「除排雪に関するお願い」などのチラシの配付とともに、先進

的に行っている事例を参考にしながら、地区民の協力体制が得られるよう話し合いを進めていきます。

**Q** 福原小学校統合を決定してから4年が経過し、PTA会員も区長も大幅に入れ替えとなった。これまでの経過や今後の進め方について、早急に地区民に対する説明会を開催すべきではないか。駐車場整備はどうするのか。

**A** これまでの経過や再調整した内容について、関係課と一緒に同行しながら、保護者会や福原地区の区長への説明会を開催し、合意を得ていきたいと考えています。駐車場整備については、旧寺内保育園跡地を活用する方向で検討しています。



小関 英子議員

### 食物アレルギーへ対策の拡充を

**Q** 食物アレルギーに対してどのような対策がなされているのか。保育園、幼稚園、小中学校で食物アレルギーに関する事故は起きていないか。また、家庭と園、学校と消防署において命を守るための情報は共有されているか。

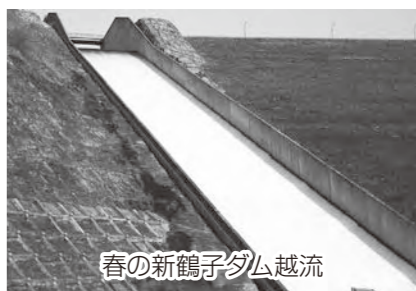
**A** 以前に比べ食べ物に対してアレルギーを持つ子供たちが増加していると実感しています。昨年には、東京都の小学校で死亡事故も発生したこともあり対策には万全を期しています。市内保育園においては、

給食による食物アレルギーの発生例はありません。保育園の食育活動の対策としては、栄養士、調理師と調整を図りながら保護者の理解や知識の向上に努めています。

食物アレルギーを持つ市内保育園児童数は、公立・私立また私立幼稚園も含め8月現在、18名で基本的には除去食の対応をとっています。また、アレルギーが発症した場合に迅速な対応が取れるよう消防署との情報共有を行っています。

**Q** 雪に負けないまちづくりのため、流雪溝整備の進捗状況はどうか。流雪溝の円滑な利用のため新鶴子ダムの水を有効活用できないか。

**A** 市道流雪溝整備に関



する請願・要望は、平成6年から13件あります。そのうち事業に着手したものは7件、未着手は6件。未着手の地区については、水源や水量、山間部等の勾配の問題などのさまざまな課題があるので、順次整備を進めます。新鶴子ダムの冬期間における事前放流については、安定的な放流が可能となるよう、現在、農政局、市、土地改良区との調整会議を重ねている段階です。

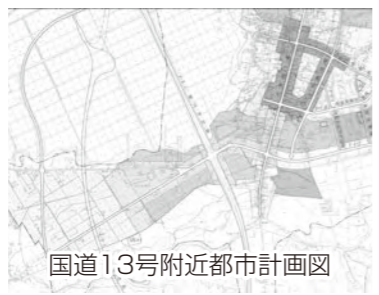
### 都市計画マスタープランの見直しの考えは



加藤 克彦議員

**Q** ICT（情報通信技術）を活用し雪に強いまちづくり推進策はどうか。

**A** 情報化事業として、尾花沢市においては光ファイバー網を整備し、概ね市内全域に高速インターネットサービスへの利用ができる環境が整いました。今年度、基幹システムのクラウド化を行い、重要データの災害時のバックアップ体制を整えました。現在の雪に関する情報については、各地区在住の方に委託し積雪観測を実施しています。積雪深、降雪深の報告



**Q** 都市計画マスタープランで第6次総合振興計画より籠気下新田線を加えた見直しを考えるとどうか。

**A** 8月に庁内関係課による検討委員会を組織し、改定に係る検討を始めました。現在、検

討委員会の下部組織で、現行マスタープランの進捗状況、問題点、課題などの洗い出しを行っています。今後、具体的な検討に入る予定です。

**Q** 除雪業務委託費の積算について。

**A** 業務委託全般に係る経費については、事業ごとに国の基準に基づき積算しています。今後他市町村の状況や本市の地域性などを勘案しながら、適正な経費率について検討していきます。



星川 睦子議員

### 長年放置されたままの除塵機を撤去せよ

**Q** 市立小中学校の土曜授業について。来年度から、尾花沢市立の小中学校は実施するのか。学力の向上のため、月1回くらい実施すべきと考えるがどうか。

**A** 土曜授業への取り組みは、市町村判断となります。本市では積極的に実施は考えていません。理由は、文部科学省の示す標準時数があり、尾花沢市内各校は上回る授業を行っているからです。また、土曜を授業日にする点で、教員の勤務時間の関係や外部講師確保による予算や人材確保

が難しいことがありま

す。小学6年生、中学3年生全員が参加した全国学力テスト調査での本市の結果は、全国平均に比べ小学校で国語Aが大きく上回り、国語Bが概ね平均、算数ABが上回っています。中学校では国語AB、数学ABが概ね平均。4月に行われている小学校2年生から中学校3年生までの学力検査でも、小中ともに全国平均を上回っています。本市の特徴として、各校の特性に応じた体験活動を取り入れ、伸び伸びとした教育の中で学力的にも高い数値を維持していると考えます。

**Q** 川や流雪溝のゴミ処理問題について。



**A** 春の一斉クリーン作戦で河川清掃を実施し、大勢の市民の皆様の協力のもと、きれいにしていたと考えています。これからも広報に努めていきます。除塵機は撤去し、更新について検討していきます。

## 「田は宝なり」と言える 本市水田農業を



菅野 修一 議員

**Q**平成22年に実施した農業センサスの結果から見える本市農業構造をどう捉え、考察しているのか。

**A**平成22年農業センサスでは、10年間で農業従事者は、4千153人から3千12人と1千141人減少しています。また、高齢化により将来を担うべき40歳未満の従事者は155人で、その割合は、51%と大変深刻な状況です。今後、農業経営の安定化を図るため、儲かる農業をどのように進めていくかが大事であり、規模拡大への取り組み、周



稲刈り間近の玉野地区直播栽培水田

年農業の推進、農工商連携による6次産業化の推進、直接販売への取り組み、さらには、価格補填対策などを実施して農業所得の向上を目指す。

**Q**これから10年で農業所得倍増計画の中、水田未整備地区の基盤整備事業に積極的に取り組みむ考えはあるか。

**A**今後の基盤整備への取り組みについては、農地の荒廃化対策や農

地の集約化、及び省力化推進のためには条件整備が大事と考えます。国からの事業支援策などとともに、地域や地権者の意向を踏まえて対処します。

**Q**担い手の方々で水田直播栽培に取り組んでいる。今年も良好な実績が期待されている。

この栽培技術が確立すると10a当たりの生産コストや労働時間が大幅に削減されるという執行部として、この内容を把握しているか。

**A**水稲の直播栽培は、通常の移植栽培に比べ、省力化・低コスト・大規模化につながるという

望みされています。今年度は、22の経営団体が約25haで取り組んでいます。栽培技術の確立が今後の普及を進める上で鍵になると考えます。

## 市民の安全と 暮らしを守るために



石塚ミツ子 議員

**Q**『平和都市宣言』を行っている市として、

集団的自衛権の行使は、海外で自衛隊が米軍とともに軍事行動ができることになる。日本が海外で戦争する国に作り変えられることについてどう思うか。

**A**集団的自衛権の行使は、国際社会における

日本の立場に大きな影響を与えるため、関係国による平和的外交の推進を強く希望します。  
**Q**消費税増税について、比較的所得の低い人が多い当市にとって、どういった影響が出てくるのか。

**A**医療や介護、年金などの社会保障改革に盛り込まれた低所得者へのきめ細かな配慮策を着実に実施し、軽減税率や給付付き税額控除などを導入することで、社会保障・税一体改革の履行が図られるものと認識しています。

**Q**市民の所得は100万円、200万円の以下の人が増え、200万円以上の人が減っている中で、増税に反対すべきと思うかどうか。

**A**安倍首相は、今国会での議論や経済指標を踏まえ、10月上旬まで最終判断する方針であり、今後の動向を注視していく必要があると考えています。

**Q**地方交付税が、消費税増税になっても減らされるようだが、どう

思うか。

**A**地方交付税は、地方固有の財源であり、市町村が健全に行使できるよう国に対し財源の確保を強く求めていきたいと考えています。

**Q**『男女共同参画行動計画』が作られ8年になるが、その進捗状況と啓蒙活動はどうか。

**A**各審議会や職員の管理職への登用が増加しており、県の男女共同参画センターと連携した啓蒙活動を実施しています。



9月28日 悠美館にて開催のシンポジウム

## 空き校舎の活用検討を



奥山 格 議員



廃校になった旧高橋小

**Q**空き校舎になる小学校用地は広大で、地区でも中心的な重要な場所であり、その活用について市長の考えはどうか。

**A**庁内に「空き公施設」の活用及び管理に関する検討委員会」を組織し、施設の活用

などについて検討を進めています。

**Q**地域住民を含めた「空き校舎活用検討委員会」を立ち上げる考えはないか。

**A**地域による利用の検討は、区長や統合準備委員会に対して、地域での活用をご提案させていただき、地域の意向の把握に努めていきます。

**Q**子どもが戸外で安全に遊べる空間が少ない。児童遊園などを設置する考えはないか。

**A**空き小学校のグラウンドについては、既存の遊具を活用しての自由な遊び場として検討していきます。

**Q**新しい耐震基準に満たない空き校舎は利用を考えないのか。

**A**利用形態をどうするか。

のかによって、全て耐震化を進めていく考えではありません。

**Q**利用が決まるまで最低限空き校舎が雪で損壊しないよう管理が必要ではないか。

**A**管理にはかなりの費用が必要となり、解体も考えざるを得ません。

**Q**電気料金が9月1日から家庭向けで平均8.94%に、月々燃料費の上昇分も加えた料金になった。本市の公共料金の電気料はどのくらい上がるのか。

**A**年間総額1千万円を超える増加が見込まれます。

**Q**企業向けの値上げ幅は、15.24%上がるが、本市の企業に及ぼす影響はどのくらいか。大きな工場についてはどうか。

**A**特に、大きい製造業関係の事業所では月額200万円の増となる見込みです。

## 『元気な尾花沢』創造に 投資的事業の増額を



菅根 光雄 議員



定目的基金である新鶴子ダム受益者負担償還対策基金からの繰入金を一部充当して、新鶴子ダムの建設負担金の償還に取り組んでおり、平成27年度には、18.0を下回るものと見込んでいます。

**Q**庁舎の耐震診断結果は危険を示している。建設計画、建設予算、そして今後の進め方をお尋ねする。

**A**今年度は、市民アンケートを実施し、仮称「庁舎のあり方検討委員会」で、市庁舎のありべき姿や整備の方向性について協議したいと考えています。

**Q**3年間の市政運営で『元気な尾花沢』をつくるために行った施策と、今後元気創造のために投資的事業費の増

額が必至と考えるかどうか。

**A**中学校3年生までの医療費無料化、「ABESA」の開設、「ふるさと暮らし応援事業」の創設、大地熱等を活用した無雪化、国道347号の通年通行、スイカサイダーの販売などで、引き続き未来に夢を描けるまちづくりに努めていきます。

**Q**災害時の福祉連携はどうなっているのか。災害弱者への配慮を平時のうちに対応が取れるよう、しっかりと構築しておくべきではないか。

**A**避難所運営に関しては、施設のバリアフリー化や専用スペースの確保、医療・保健福祉サービスの適切な実施など、災害時要援護者に配慮した見直しを実施しました。

# がんばります



議長  
鈴木敏正

一言、議長就任のご挨拶を申し上げます。8月6日の臨時会において議会構成の改選にあたり、不肖私が議長という大役を仰せつかりました。私自身にとりましてはこの上ない光栄と存じますとともに、その責任の重さをひしひしと感じている次第です。

議会は言論の府であり、活発な議論が展開され、建設的なご意見、提言が数多く出されるこ

とを望みます。議会の目標は市民生活の向上であり、住民の幸せを第一義に考えるべき立場にあると思っております。

議長の職務については、議場の秩序維持、議事の整理、議会事務の統理、議会代表権が規定されております。これらを円滑に運営し遂行していくには、議長一人の力では不可能であることを自覚いたしております。歴代の議長に恥じないよう一生懸命努めたいと思っておりますので、市民各位の段のご協力をお願いいたします。就任の挨拶いたします。



副議長  
加藤克彦

市民の声を市側に伝えるのが議員の仕事と考えています。雪対策や流雪溝整備を推進し、若者が定住しやすいまちづくりを実現し住みやすい尾花

沢にすることが重要で、農業の担い手支援に重点を置き、農地集積や農業政策に力を注ぎ、尾花沢ブランドづくり6次産業化に取り組みます。市民目線で議員定数や報酬の在り方を議会で話し合い、市民に信頼される議会運営を目指します。

## 市議会新体制でスタート

◎は委員長、○は副委員長

役職	議員名
議長	鈴木敏正
副議長	加藤克彦
総務文教常任委員会	◎大類好彦 ○星川睦子 菅根光雄 須貝孝 菅野修一 加藤克彦
市民厚生常任委員会	◎青野隆一 ○小関英子 鈴木敏正 奥山格 塩原未知子
産業建設常任委員会	◎五十嵐佳満 ○武田佳久 大類準一 伊藤精一 石塚ミツ子
議会運営委員会	◎菅野修一 ○塩原未知子 大類準一 伊藤精一 菅根光雄 大類好彦
議会だより編集委員会	◎塩原未知子 ○青野隆一 菅野修一 五十嵐佳満 大類好彦 武田佳久 星川睦子
森林・林業・林産業活性化推進	会長 鈴木敏正 副会長 加藤克彦 幹事長 大類好彦 幹事 小関英子 幹事 五十嵐佳満
尾花沢市議会議員連盟役員	幹事 星川睦子 幹事 青野隆一 監事 須貝孝 監事 塩原未知子
尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議員	伊藤精一 菅根光雄 奥山格 武田佳久 小関英子
北村山広域行政事務組合議員	大類準一 星川睦子 塩原未知子
北村山公立病院組合議員	鈴木敏正 青野隆一
山形県後期高齢者医療広域連合議員	菅根光雄
尾花沢市監査委員	須貝孝
尾花沢市都市計画審議会委員	菅根光雄 石塚ミツ子 五十嵐佳満 大類好彦 塩原未知子
尾花沢市農業委員会委員	伊藤精一

役職	議員名	役職	議員名
尾花沢市総合企画審議会委員	鈴木敏正 加藤克彦 大類好彦 青野隆一 五十嵐佳満	福祉法人尾花沢市社会福祉協議会評議員	加藤克彦 塩原未知子
尾花沢市環境審議会委員	青野隆一	社会福祉法人徳良会評議員	加藤克彦 青野隆一
尾花沢市民生児童委員推薦会委員	加藤克彦 小関英子	尾花沢市市史編纂委員会委員	須貝孝
尾花沢市民賞選考委員会委員	鈴木敏正	尾花沢市消防あじゅつ金審査員委員	菅野修一 加藤克彦
尾花沢市国際交流協会副会長	鈴木敏正	尾花沢市土地開発公社監事	須貝孝
尾花沢農産加工有限会社監査役	須貝孝	尾花沢市四大まつり実行委員会委員	鈴木敏正 五十嵐佳満
尾花沢産牛振興協議会委員	鈴木敏正 五十嵐佳満	村山北部土地改良事業地元負担金対策協議会委員	鈴木敏正 大類準一
東北中央自動車道(東段~尾花沢間)建設促進協議会委員	鈴木敏正	村山北部地区国営施設機能保全事業促進協議会監事	鈴木敏正
国道13号尾花沢新庄道路整備促進期成同盟会委員	鈴木敏正 五十嵐佳満 武田佳久 大類準一 伊藤精一 石塚ミツ子	尾花沢市農業再生協議会委員	鈴木敏正 五十嵐佳満
国道347号改良促進期成同盟会委員	鈴木敏正 五十嵐佳満	特定医療法人敬愛会評議員	鈴木敏正
社会福祉法人尾花沢福祉協議会委員	鈴木敏正 奥山格	尾花沢市企業立地促進委員会委員	五十嵐佳満

8月19日に北村山公立病院組合議会第一回臨時会が開催されました。このたび、新しく本市議会議長に就任した鈴木敏正議員を、北村山公立病院組合監査委員に選任する議案が上程され、全会一致で可決されました。

## 北村山公立病院組合議会 広域議会

### 尾花沢市 大石田町 環境衛生事業組合議会

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会議員の改選に伴い、8月23日に臨時会が開催されました。

議長には伊藤精一氏が選任、水道常任委員長に村形昌一氏、衛生常任委員長及び議会運営委員長に菅根光雄氏、監査委員には関幸悦氏が選任されました。

平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算案が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決されました。

条例の改正で議員定数が14名から10名になりました。これに合わせて先例並びに申し合わせ事項の内容も協議され、議長、副議長は2年交代とし、今期の議長は尾花沢市から副議長は大石田町から選出されました。また、議会運営委員会は4名の構成になります。

し尿処理施設整備事業において、入札を「総合評価方式」で実施するとの説明がありました。

市民町民が安心して住み続けられる環境衛生の整備が望まれます。



改築される予定のし尿処理施設

## 採択された請願

◎平成25年請願第9号  
古殿地区市道改良に関する請願

市道802号、809号、810号、811号線の道路拡幅改良に関して

古殿区長 五十嵐惇  
古殿地区市道改良委員会委員長  
石川文夫



古殿地区西側道路

◎平成25年請願第10号  
新聞軽減税率に関する請願

消費税増税にあたり、「複数税率の導入」「新聞への軽減税率適応」について

山形新聞尾花沢専売所 代表取締役  
菅 純一  
尾花沢新聞販売所 三賀久幸

## 可決された意見書

新聞の軽減税率に関する意見書

政府は景気回復に向けて積極的に政策を展開中ですが、国民の所得が増える保証はありません。来年4月に予定されている消費税増税によって各家庭の経済的負担が増せば、民主主義を支える社会基盤である新聞の購読を中止する家庭が増えることを懸念します。こ

のため、政府には新聞の軽減税率適用の実現を強く要望します。

地方財源の確保に関する意見書

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いています。こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづく

りを安定的に行うためには、地方財源の充実確保が不可欠です。よって、国においては、地方交付税の増額による一般財源の確保について強く要望します。